

～つくば駅の新たな魅力発信～
特別展示第3弾 JAXA

つくばエクスプレス(TX)を運営する首都圏新都市鉄道株式会社(代表取締役社長 渡邊 良、東京都千代田区)は、つくば駅周辺の研究機関等と連携し、つくばの魅力を発信する特別展示ブースを、つくば駅構内に設置しています。

第3弾として、2026年3月16日より、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(以下:JAXA)筑波宇宙センターに参加いただき、特別展示を行っています。

内容は、別紙のとおりです。



特別展示 JAXA

JAXA 特別展示について

1. 展示期間
2026年3月16日(月)～2026年4月20日(月)
2. 展示場所
つくば駅(茨城県つくば市吾妻2-128)改札口付近 特別展示ブース
3. 出展法人
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
4. 展示協力
一般財団法人 茨城県科学技術振興財団
5. 展示について
展 示 品：顔出し宇宙服(イベント等で使用しているフォトスポット)
大 き さ：幅 90 cm×奥行 70 cm×高さ 190 cm
展示の狙い：本展示を通じて、宇宙飛行士の装備や宇宙空間での活動に対する理解を深めるとともに、子どもから大人まで幅広い世代が宇宙に興味を持つきっかけとなることを期待しています。

「顔出し宇宙服」は、宇宙飛行士の船外活動(EVA)用宇宙服を模したフォトスポットです。今回の展示では安全のためステップを外しており、後方から顔を入れての撮影はできませんが、真正面から宇宙服を眺めるだけでも、まるで宇宙の現場に立っているような臨場感を味わえます。国際宇宙ステーション(ISS)で船外活動を行う宇宙飛行士を背景に、展示品の顔出し宇宙服と見比べて、宇宙を身近に感じていただける展示となっています。

<参考>JAXAについて

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的实施機関と位置付けられ、同分野の基礎研究から開発・利用に至るまで一貫して行っている国立研究開発法人です。

つくば市内に位置する筑波宇宙センターは、約 53 万平方メートルの広大な敷地に最新の試験設備を備えた総合的な事業所で、人工衛星の開発・運用、「きぼう」日本実験棟を中心とした宇宙環境利用、宇宙飛行士の養成、ロケット・輸送システムの研究開発など、日本の宇宙開発を支える中枢的役割を担っています。

HP：<https://www.jaxa.jp/>

<参考>つくば駅特別展示について

「つくば駅」をモデルとして有識者等で構成する「駅機能のあり方勉強会」を2024年10月に発足し、幅広い見地からご意見をいただきながら将来的な方向性を検討してまいりました。この活動を通じて、つくば駅をモデルとして多様なニーズや社会的課題への対応など、駅に求められる機能の将来的な方向性を2025年4月に取りまとめました。

本勉強会の中で示された「つくばらしさを感じられる駅」という課題に基づき、研究学園都市としてのイメージの創出(科学技術や大学との連携などの発信)を行っています。

本企画の実施については、(一財)茨城県科学技術振興財団と連携して、つくばの魅力を発信する展示ブースを設置しています。

【特別展示の実施】

第1弾 2025年11月20日～2026年1月23日

大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

・展示物:「超電導加速空洞」

第2弾 2026年1月27日～2026年3月13日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

・展示物:「遺伝子組換えカイコに関する成果」

以 上